

2026年度 神奈川工科大学 健康医療科学部

臨床工学科

履修・成績に関する説明資料（1年生）

2026年9月 父母説明会

2026年度 健康医療科学部 臨床工学科 教職員構成

氏名	職名	研究室名	研究領域キーワード
河口 進一	教授	情報システム電力変換工学 研究室	情報システム IC・半導体 電力変換システム
金 大永	教授	医療支援ロボットシステム 研究室	低侵襲治療 医療支援ロボット 術中スキルの学習
鈴木 聡	教授	クリニカル イノベーション マネジメント（CIM）研究室	臨床人間工学 生活人間工学 臨床工学
深澤 伸慈	教授	呼吸管理マネージメント 研究室	呼吸中枢活動 3軸加速度センサ・3次元深度センサ 呼気二酸化炭素曲線
馬嶋 正隆	教授	病態治療研究室	薬理学 免疫学 病態解析
松田 康広	教授	ライフサポート工学研究室	生活支援工学 計測工学 ヒューマンインターフェース
山家 敏彦	教授	血液浄化技術研究室	医療安全 災害医療 血液浄化療法
渡邊 紳一	教授	運動生理・健康科学研究室	健康科学 運動生理学 体力科学
大瀧 保明	准教授	人間センシング研究室	バイオメカニクス 人間工学 センシング メカトロニクス
西村 宗修	准教授	生体情報研究室	循環生理学 血圧調節 健康科学
小野 哲治	准教授	医療安全工学研究室	体外循環技術 人工心肺 医療安全 医療情報
堀江 良一	教授	—	血液学

2026年度 健康医療科学部 臨床工学科 教職員構成

学科長 松田 康広

教務委員 大瀧 保明

学生部委員 金 大永

担任

- 4年生：卒研指導の各教員
- 3年生：大瀧 保明
- 2年生：河口 進一
- 1年生：金 大永

学科事務室（K4号館, A科）

佐々木 綾

* 学科事務室（E 1 号館, S/R科）

杉崎 久美子

就職事務室（K4号館, A/U 科）

柏木 美紀子

成績表の確認

あなたの専用ページ



データバンク



成績表

神奈川工科大学 KANSAI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Active Academy

60分

データバンク

学籍番号	学年/学期	カナ氏名	漢字氏名
5263002	1 年	????????	00000

所属 健康医療科学部臨床工学科 入学 2022/4/1

保証人/保護者/家族 成績表 修業情報 出欠調査状況表

基本情報 個人情報 奨学金情報

末（まつ）と末（み）の見間違いに注意。

【前期末成績表】：2026年度前期に履修した科目についての評価

【学業成績表（原簿）】：今学期までに履修した全ての科目の評価

進級条件「卒業研究履修の資格」と「卒業要件」

2026年度入学生 臨床工学科

卒業研究履修の資格

4年次において卒業研究を履修するためには、3年次終了時に次表に示す条件1～3をすべて満たしていなければならない。

条件1 総修得単位が104単位以上でること 条件2 共通基盤教育で15単位以上修得していること。 条件3 修得していなければならない科目を修得していること	
修得していなければならない科目	
スタディスキル	3科目
生命倫理	
情報・AIリテラシー	
医用工学概論	クリックで拡大 ドラッグで移動
生体計測機器学実習	
医用機器学概論	
医用治療機器学Ⅰ（基礎）	
生体計測機器学Ⅰ（基礎）	
生体計測機器学Ⅱ（発展）	
生体機能代行技術学Ⅰ（基礎）	

- 上記が満たされない場合は4年間で卒業できないことが3年次終了時に決まる
- 卒業研究着手できない場合、3年次留め置きとなる。

履修要綱 P124

卒業要件

教育区分				必選別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導入系			必修	1
	倫理系			必修	2
	人文社会系	a群		選択	4
		b群			
		c群			
	健康・スポーツ系			選択	1
	言語系	英語基礎		選択	2
		言語応用	a群	選択	3
			b群		
	数理情報系			必修	2
(小計)				15	
専門教育	専門基礎			必修	33
	専門			必修	16
				選択	40
				(小計)	89
	任意				20
合計				124	

任意とは、以下の修得単位を示す

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、自由科目

臨床工学技士国家試験を受験するための必須科目

履修要綱 P125-126

臨床工学技士法第14条第4号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する科目

区分	指定科目	授業科目名	単位数	審査基準
人体の構造及び機能に該当する科目	解剖学	解剖生理学Ⅰ	1	6
		解剖生理学Ⅱ	1	
		基礎医学実習	1	
	生理学	解剖生理学Ⅰ	1	
		解剖生理学Ⅱ	1	
		基礎医学実習	1	
臨床工学に必要な医学的基礎に該当する科目	生化学①	生化学	1	9
	医学概論	医学概論	2	
	公衆衛生学	公衆衛生学	2	
	病理学	病理学	2	
	生化学②	生化学	1	
	薬理学	薬理学	2	
	免疫学	免疫学	2	
	チーム医療概論	チーム医療論	2	
臨床工学に必要な理工学的基礎に該当する科目	応用数学	応用数学	2	16
		応用数学演習	1	
	電気工学	電気工学Ⅰ(直流回路、交流回路)	2	
		電気工学Ⅱ(過渡現象、電磁気学)	2	
		電気工学実習	1	
	電子工学	電子工学Ⅰ(基礎)	2	
		電子工学Ⅱ(発展)	2	
		電子工学実習	1	
	機械工学	機械工学	2	
		機械工学演習	1	
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎に該当する科目	計測工学	計測工学	2	7
		システム制御工学	2	
		システム制御工学実習	1	
		情報処理工学	2	
		情報処理工学実習	1	
医用生体工学に該当する科目	医用工学①	医用工学概論	1	7
		生体物性工学	2	
		医用材料工学	2	
		医用工学概論	1	
		医用電気電子工学実習	1	
医用機器学及び臨床支援技術に該当する科目	医用機器学概論	生体計測機器学実習	1	10
		医用機器学概論	2	
		医用治療機器学Ⅰ(基礎)	1	
		医用治療機器学Ⅱ(発展)	1	
		医用治療機器学実習	1	
	生体計測装置学①	生体計測機器学Ⅰ(基礎)	2	
		生体計測機器学Ⅱ(発展)	1	
		生体計測機器学実習	1	
	臨床支援技術学	画像診断機器学	1	
		臨床支援技術学	2	

区分	指定科目	授業科目名	単位数	審査基準
生体機能代行技術学に該当する科目	生体機能代行技術学	生体機能代行技術学Ⅰ(基礎)	2	12
		生体機能代行技術学Ⅱ(発展)	2	
		血液浄化技術学	2	
		呼吸療法技術学	2	
		体外循環技術学	2	
		生体機能代行技術学実習	3	
医療安全管理学に該当する科目	医療安全管理学	医療安全管理学	2	6
		医療安全管理学実習	2	
	医用治療機器学②	医用治療機器学Ⅰ(基礎)	1	
		医用治療機器学Ⅱ(発展)	1	
	生体計測装置学②	医用治療機器学実習	1	
		生体計測機器学Ⅱ(発展)	1	
関連臨床医学に該当する科目	臨床医学総論	関係法規②	1	7
		臨床医学総論Ⅰ	2	
		臨床医学総論Ⅱ	2	
		臨床医学総論Ⅲ	2	
		臨床検査概論	2	
		救急救命医学	2	
臨床実習に該当する科目	臨床実習	臨床実習	7	7
合計			104	87

その他	授業科目名	単位数	審査基準
上記科目における臨床実習	臨床実習前後の技術・知識の到達度評価	1	1
	血液浄化療法関連実習	1	
	呼吸療法関連実習及び循環器関連実習	3	
	治療機器関連実習及び医療機器管理業務実習	2	
	上記以外の臨床実習		

臨床工学技士国家資格取得を目指した意識的な履修選択を！

臨床実習の実施に必要な単位修得

臨床実習を履修するための条件

修得していなければならない科目	
医用工学概論 生体計測機器学実習 医用機器学概論 医用治療機器学Ⅰ（基礎） 医用治療機器学Ⅱ（発展） 医用治療機器学実習 生体計測機器学Ⅰ（基礎） 生体計測機器学Ⅱ（発展） 生体機能代行技術学Ⅰ（基礎） 生体機能代行技術学Ⅱ（発展） 血液浄化技術学 呼吸療法技術学 体外循環技術学 医療安全管理学 医療安全管理学実習 関係法規 臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ	18科目

科目選択

略号	学科名
U	看護学科
クリックで拡大	養学科
ドラッグで移動	学科

履修要綱 P12-13

■共通基盤教育科目（健康医療科学部）

必修選択別記号 ◎必修、○選択、一配当なし

授 業 科 目		健康医療科学部			単 位 数	週時限数(1時限:100分)								備 考	
		U	L	A		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
導入系	スタディスキル	◎	◎	◎	1	1									
	生命倫理 ※1	◎	◎	◎	2	1									
人文社会系	現代社会講座	◎	—	—	2	1									
	a 群	経済の科学 ※2	—	○	○	2		(1)	(1)	(1)					}
		歴史の科学 ※2	—	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		社会の科学 ※2	○	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		文化の科学 ※2	—	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		グローバル化の科学 ※2	○	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		心の科学 ※2	—	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		日本国憲法 ※2	○	○	○	2		(1)	(1)	(1)				教職	
		環境論 ※2	○	○	○	2		(1)	(1)	(1)					
		人文社会科学アクティブ演習	—	○	○	2					1	1		通年科目	
	b 群	哲学 ※3	○	○	○	2				(1)	(1)	(1)			}
		文学 ※3	○	○	○	2				(1)	(1)	(1)			
		心理学 ※3	○	○	○	2				(1)	(1)	(1)			
		倫理学 ※3	○	○	○	2				(1)	(1)	(1)			

卒業要件

履修要綱 P124

教育区分				必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導入系			必修	1
	倫理系			必修	2
	人文社会系	a群		選択	4
		b群			
		c群			
	健康・スポーツ系			選択	1
	言語系	英語基礎		選択	2
		言語応用	a群	選択	3
			b群		
	数理情報系			必修	2
				(小計)	15
専門教育	専門基礎			必修	33
	専門			必修	16
				選択	40
				(小計)	89
任意					20
合計					124

任意とは、以下の修得単位を示す

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、自由科目

- 教育区分に定める単位数を満たすよう科目を選ぶ。
- 必修も履修「登録」が必要！
- 余剰単位は任意の単位数に算入される。

選択科目

- 教育区分別の、卒業に必要な単位数を修得する
 - ✓ 卒業要件科目を最優先！ 塩梅を加減する余裕はありません。
- 臨床工学技士国家試験受験に必要な単元、単位を修得する
 - ✓ 1年次に配当されているものは「必修（◎）」になっている。履修登録！
- 「基礎数学」（前期7コマ）、「基礎物理」（前期14コマ）、「**基礎化学**」（**後期7コマ**）は、基礎が足りないと思う場合は履修を強くお勧めする
 - ✓ プレースメントテストの感触で・高校時代の選択科目の状況で
 - ✓ 迷う場合は、初回に参加して相談する。担当（金先生）

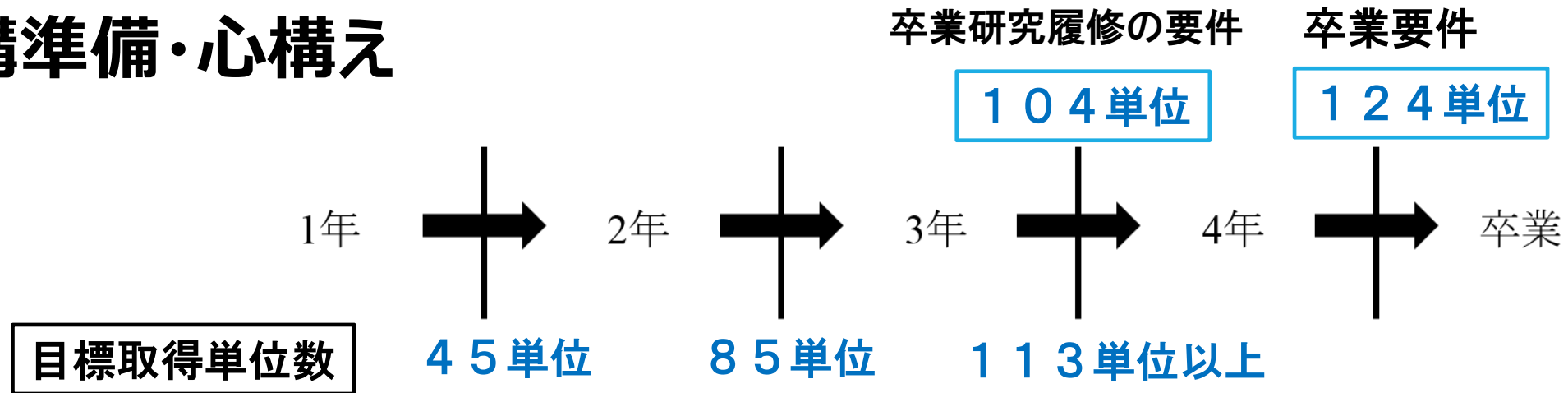
目標修得単位数

本学科における入学から卒業までの標準的な累積修得単位数

- ・ 1 年次終了時－45単位以上
- ・ 2 年次終了時－85単位以上
- ・ 3 年次終了時－113単位以上
- ・ 4 年次終了時－124単位以上 （卒業要件）

4年次に卒業研究を履修するためには3年生終了時点で、学科の「指定科目」「指定単位数」を修得している必要があります。

履修上の注意 受講準備・心構え



- 医療者養成課程においては、**単位を落とさないのが基本**
必修の履修科目が多い。再履修できれば良いが、翌年に配当される必修科目や変則開講の科目と、**時限が重複すること**がある。
- 留め置き（所謂「留年」）は、卒業研究着手の要件に対して単位修得状況が確定的となる3年次で生ずる。それまでは進級する。

修得単位数に関する注意事項

前期終了時点での修得単位数の目安、不足単位の確認

単位集計欄の見かた

区分	卒業要件	修得単位					合計	卒業不足	卒業研究不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系										
倫理系										
人文社会系										
倫理人社自由										
健康スポーツ系										
英語基礎系										
中略										
専門 選必										
専門 選択										
専門教育選択										
任意										
総合計							★	♪	♪	○
卒業研究条件科目不足科目数 (♪)										
GPA 学期末 () 累計 ()										
担当教員	神奈川 工太郎 連絡先は「教員連絡先・手続き」から検索できます									



目安

1～4年生

◆前期終了時の推奨修得単位

1年生:22単位

2年生:65単位

3年生:105単位

4年生:116単位

この前期終了の時点で
単位修得状況は
いかがでしょうか？

3年生

◆指定の科目・単位数の不足

前期終了時では不足がある場合があります。

後期の履修・修得計画を要確認

- ★ 修得済み単位数
- ♪ 卒業する為に不足している単位数
- ♪ 卒業研究を履修する為に不足している単位数
- ♪ 卒業研究を履修する為に不足している科目数
- 成績判定中または後期の履修単位数

履修状況・成績の確認

1. 共通基盤科目3科目の単位を修得しましたか。または、履修計画が立ててありますか。
 - ☐ スタディスキル
 - ☐ 生命倫理
 - ☐ 情報AIリテラシー

2. 他の共通基盤科目について、下記を満たすよう単位を修得しましたか。または、履修計画が立ててありますか。
 - ☐ 健康スポーツ系（健康スポーツ科学実習Ⅰ or Ⅱ）を1つ以上
 - ☐ 英語基礎系（英語Ⅰ～Ⅳ）を2単位（2科目）
 - ☐ 言語応用系を3単位
 - ☐ 人文社会系を4単位（2科目）

履修状況・成績の確認

3. 「卒業研究」を履修するための、以下の科目の単位を修得しましたか。
または、履修計画が立ててありますか。

- ☐ 医用工学概論
- ☐ 医用機器学概論
- ☐ 生体計測機器学 I（基礎）

4. 必修科目の単位を修得しましたか。

後期履修に際して シラバスの確認

- 授業概要、到達目標、評価方法、履修上の注意について必ず確認
※ DP ディプロマ・ポリシー
→卒業認定・学位授与の方針
- 不明点がある場合は、科目の担当教員まで連絡
- オムニバス講義や非常勤講師で連絡の難しい場合、科目代表（時間割中＊印, 学科教員）まで。

PDFダウンロード

更新日 : 2025/03/14 22:07:04

応用数学				
開講年度	2025	学期	前期	
担当教員	松田 康広	科目コード	1511220	授業コード 6410
		教員連絡先・オフィスアワー教員連絡先・オフィスアワー		
配当	学部/学科	大学 健康医療科学部 健康医療科学部臨床工学科		配当時期 1年 前期
	曜日/時限	—		単位 2単位
	科目区分	専門基礎・専門 臨床工学科(A)		科目必選区分 必選区分は、入学年度の履修要綱で確認ください
	実務経験のある教員等による授業科目			
コース				
実務経験のある教員等による授業内容				
授業概要				
生体計測用機器を扱う上で基礎となる、微積分学、微分方程式などの解析学と、ベクトル、行列など線形代数学の理論を学習する。具体的には、関数と定義域・値域、2次関数とグラフ、三角関数、指数関数と対数関数、分数関数と無理関数、逆関数と合成関数、微分係数と導関数、いろいろな関数の導関数、高次導関数と関数の増減、微分の応用、不定積分、置換積分、部分積分、定積分、定積分の置換積分と部分積分、積分の応用、平面ベクトル、平面ベクトルの成分表示と内積、空間ベクトル、行列の和・差・実数倍、行列の積、基本変形（連立一次方程式）、2次の行列式と逆行列、3次の行列式と逆行列、複素数、複素数平面、微分方程式（変数分離形）などを学習する。				
到達目標				
1	生体計測用機器を扱う上で基礎となる、解析学と線形代数学の基本事項を説明でき、演算できる。			1-(1)
履修条件、他科目との関係				
応用数学演習				
授業形式、形態				
講義、対面式授業				
評価方法				
	到達目標	評価方法	評価の詳細（割合）	
1	1	期末試験	100%	

変更多数
ひとつひとつ確認
しましょう。

科目からの連絡に注意してください。

曜日 科目	月曜日						火曜日						水曜日						木曜日													
	学 年	区 分	授業 コード	必 選	授業科目	クラス	教員名	教 室	学 年	区 分	授業 コード	必 選	授業科目	クラス	教員名	教 室	学 年	区 分	授業 コード	必 選	授業科目	クラス	教員名	教 室	学 年	区 分	授業 コード	必 選	授業科目	クラス	教員名	教 室
1	1	※	0262	○	健康・スポーツ科学実習Ⅱ 〔※高橋〕永吉			1308	1	※	6412	◎	情報処理工学		松田康	3103	1	※	6406	◎	電気工学Ⅱ(遠隔授業・電磁気学)		河口	4203	2	※	6427	◎	血液浄化技術学		山家	
	1	※	0582	○	日本語表現技術		松本	1406	2	※	6426	◎	関係法規		深澤	4203	2	※	6431	◎	生体機能代行技術学Ⅱ(発展)			3303								
	3	※	6460	◎	救急救命医学 ※鈴木・梶原・前村・富田 (不定期開講)			4203																								
9:30～11:10																																
2	1-2	※	0159	○	環境論		J	3405	1	※	6413	◎	情報処理工学実習		松田康	3103	1-2	※	0121	○	歴史の科学		竹村	3102	1	※	6404	◎	解剖生理学Ⅱ		渡邊紳	
	1	※	6408	◎	機械工学		松田康	3103	2	※	6429	◎	医用材料工学			4203	1-2	※	0095	○	社会の科学		三浦	3404	2	※	0435	○	英語Ⅳ		滝川	
	3	※	0221	○	人文社会科実習アクティブ実習		中畑	3302	2	※	6429	◎	※大遼・金・清水・井上英・澤井淳				2-3	※	0185	○	心理学		K	3405	3	※	6453	◎	放射線概論(7回授業)		長谷川	
	3	※	6460	◎	救急救命医学 ※鈴木・梶原・前村・富田 (不定期開講)			4203	3	※	6456	◎	生体機能代行技術学実習 ※鈴木・山家・西村・深澤 岡本・木内・五十嵐・別所・及川・石森・F			2103 2104 K4-301	2-3	※	0210	○	法学		山本聡	3606								
11:20～13:00																																
3	1-2	※	0097	○	経済の科学		山本英	3404	1	※	6415	◎	生体計測機器学Ⅰ(基礎)		大遼	4203	1-2	※	0119	○	歴史の科学		竹村	3102								

履修上の注意 受講準備・心構え

- 臨床系専門科目は、多くの非常勤講師に依頼している（複数領域に分かれていれば複数教員で担当）。科目代表は学科教員が務めるものがある。
 - **変則的な開講日程**となる。補講は空コマのどこに入っても良い状態にしておく（他に優先すること）。学年歴上の補講日にも留意
 - **履修態度に注意**すること。
- **連絡、通知を見落とさない**（メール、Moodleの通知）。不明点は放置しない。
- **講義時間数の2/3以上出席しなければ、単位認定の評価を受ける資格がない。**
- 今履修すべき科目は**先延ばしせず、今年度中にすべて修得する**。時間割は変わる可能性がある。卒業研究履修の資格・進級要件は優先して履修する（相談すること）。

履修上の注意 受講準備・心構え

- 「出席を認める遅刻限度」規定するものは、本学には存在しない。
- 出席登録のシステムによる受付時間は、通信への配慮など「運用上の猶予」である。決して、遅刻限度ではない。
- 出席要件は講義担当教員が指定する。出席確認の方法も一任されている。
 - 出席登録システム(旧カードリーダー、「スマ学」)は出席確認の手段の1つに過ぎない。
 - 点呼、提出物、座席指定など、確認方法は様々である。何かあれば教員に申し出ること。
 - 実習科目においては、なおのこと遅刻厳禁！

不正出席登録は、代返・パスワード提供者、代理出席登録者も含めて厳しく対応する

不正行為

個人評価の趣旨にも
反している。当然NG

- カンニング行為は手段を問わず不正行為である
- 不正アクセス、不正ログイン、なりすまし(代理)、データの盗用は不正行為である
- レポート作成および提出における不正もしてはならない（他人のレポートのコピー、重複）
- コンピュータ、スマートフォン、記憶媒体（USBメモリ等）の貸し借りは行わないこと
- 書籍や文献などの丸写しや、生成AIによる文書作成の代行、webサイトの記述や図表などの無断流用も不正行為である
- SNS等への無断での転載、投稿、拡散等、情報漏洩、守秘違反は不正行為である

不正行為は学内処罰の対象となる

資格取得

卒業・課程・コースを修了して取得できる資格

臨床工学技士国家試験
受験資格

臨床工学科卒業者

(公財) 医療機器センター

在学中から受験資格があり、特に関係があると思われる資格・検定

第2種ME技術者

制限なし

(社) 日本生体医工学会
<https://megijutu.jp/index.html>

第1種ME技術者

第2種ME技術実力
検定試験合格者

(社) 日本生体医工学会

認定ホスピタルエンジニア

講習修了者

(社) 日本医療福祉設備協会
<http://heaj-che.org/>

ITパスポート

制限なし

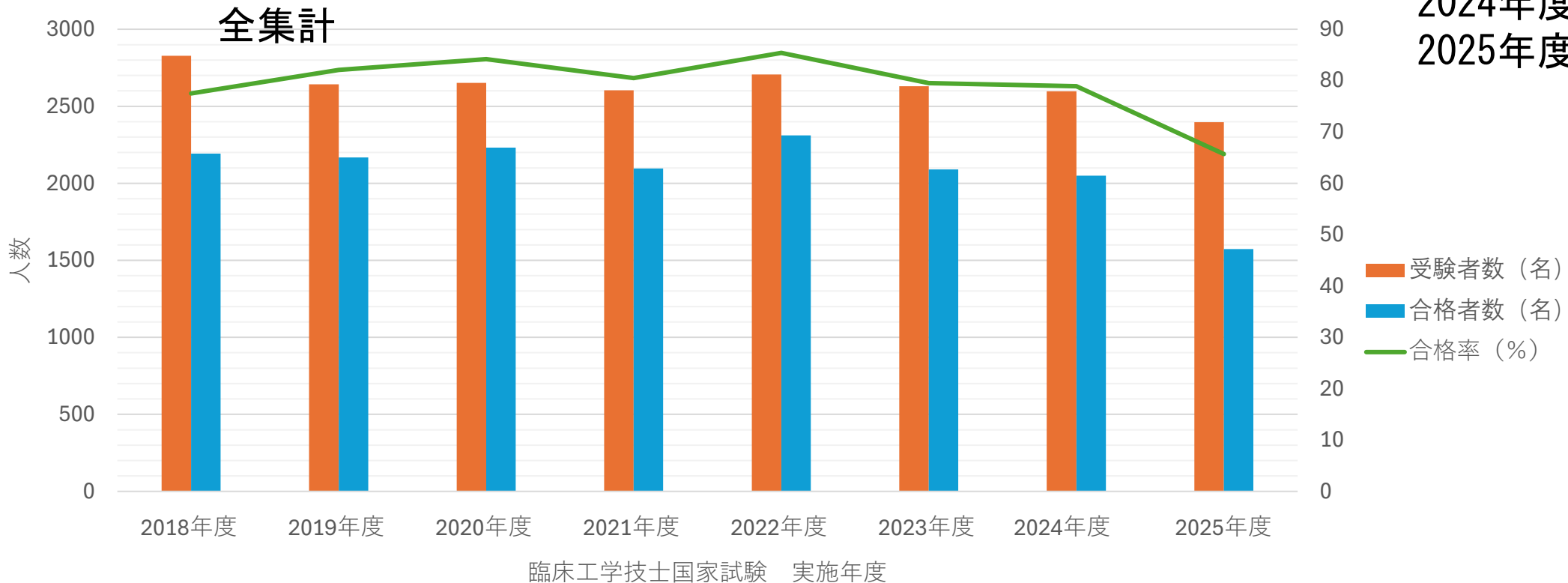
(独) 情報処理推進機構
<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

臨床工学技士国家試験

- 厚生労働省管轄。財団法人医療機器センターが実施
- 合格率は70～80%程度で推移していた（全受験者平均）

本学科の合格率

2021年度	: 82.4%
2022年度	: 86.7%
2023年度	: 93.8%
2024年度	: 90.9%
2025年度	: 83.3%

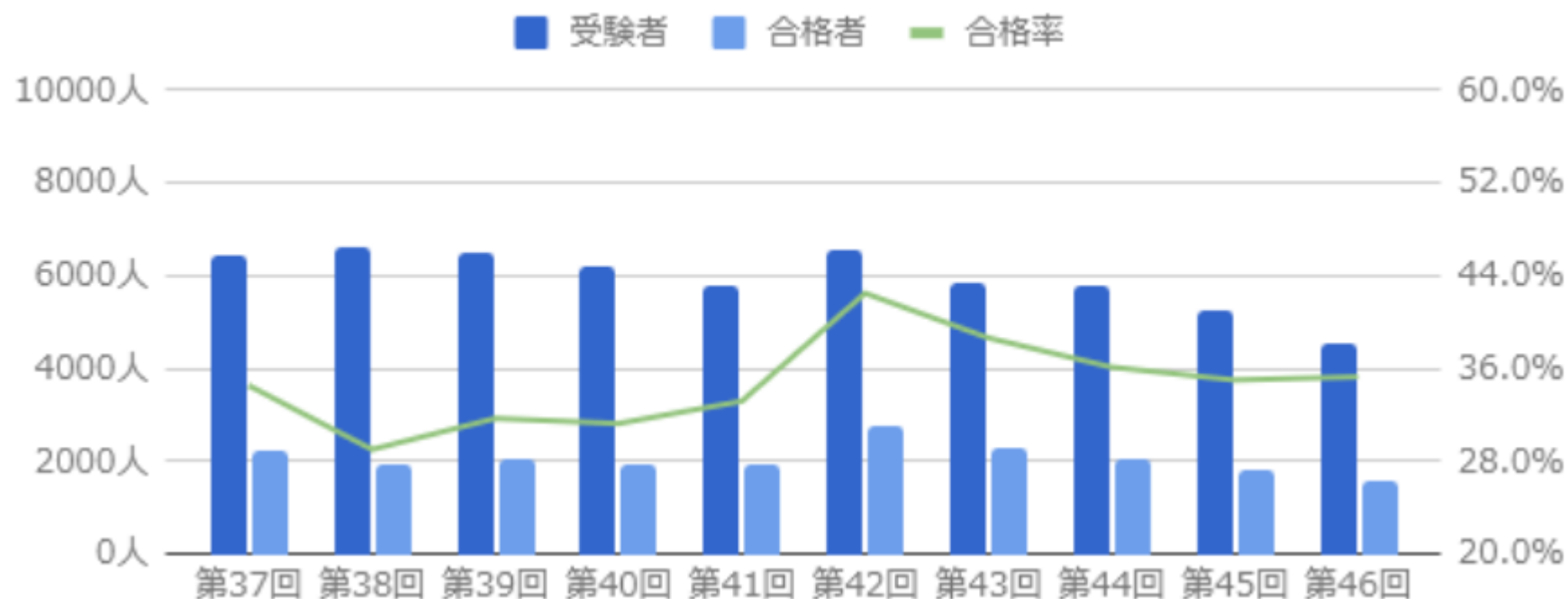


第2種ME技術実力検定試験（第2種ME技術者）

- 医療機器や生体医用工学（Medical Engineering）に関する知識や応用力を認定
- 臨床工学技士国家試験の出題基準と共通する部分も多い

本年 第47回（2026年9月6日）
積極的に取り組んでください。
合格者への受験料補助有

第2種ME技術実力検定試験結果



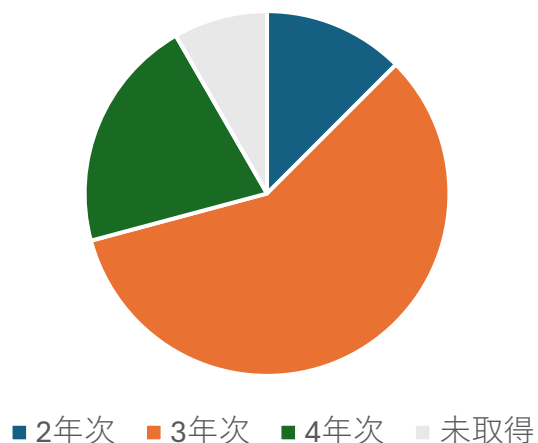
第2種ME技術実力検定試験 本学科における資格取得年次（傾向）

2025年度 国家試験合格者におけるME 2種の取得率：95%

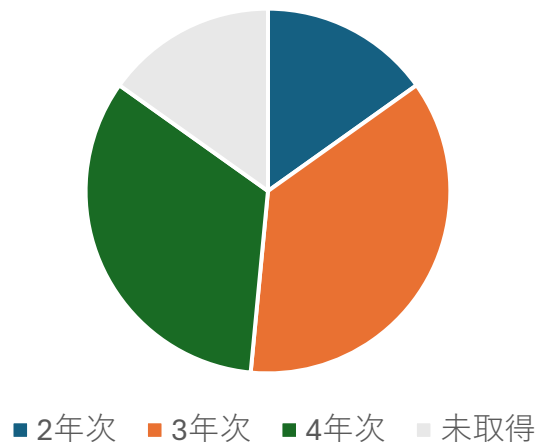
ME2種の取得状況は、4年次で就職活動に臨む判断の参考となる

下位年次から、意識した
取り組みを！

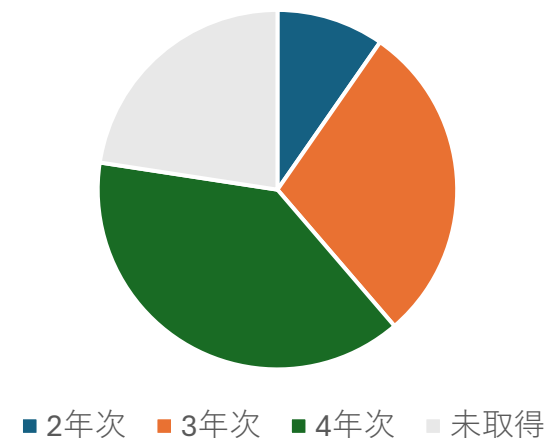
ME 2種 取得割合および合格年次
2025年度 4年生
(取得率92%)



ME 2種 取得割合および合格年次
2024年度卒業生
(取得率85%)



ME 2種 取得割合および合格年次
2023年度卒業生
(取得率77%)



質問・連絡先

- 学科長・アドバイザー 松田 yasuhiro@cet.kanagawa-it.ac.jp
- 教務委員 大瀧 yohtaki@cet.kanagawa-it.ac.jp
- 学生部委員・卒研担当 金 kim@cet.kanagawa-it.ac.jp
- 担任 卒研指導教員
- 科目担当 オムニバス科目は代表教員へ
- 臨床実習 松田、西村
- キャリア・就職 渡邊、山家
- 学科によるICTサポート support.ict@cet.kanagawa-it.ac.jp